（ﾘｽｸｱｾｽﾒﾝﾄ）　緊急作業　作業手順書

No.900

会社名	中日本ﾊｲｳｪｲ･ﾒﾝﾃﾅﾝｽ名古屋㈱	主な設備、仕様機械	主な使用工具、器具	安全設備、保護具	使用材料
作成日	令和6年3月25日	2tトラック、3tダンプ、4tユニック	角スコップ、竹ぼうき	ﾍﾙﾒｯﾄ、手袋、安全靴、安全ﾁｮｯｷ	土のう袋、ビニール袋
改訂日	令和7年4月7日			保護ﾒｶﾞﾈ、ﾏｽｸ、レッドホーンW（赤色棒）	油処理剤、吸着マット
作成者	熊谷			からまんでーW（黄旗）、しらすんだー受信機	舗装補修材

必要資格等	運転免許（準中型、中型）	作業人員	5～10 名	その他	
備考					

作業工程	No	単位作業 と その主な手順	危険有害要因（予測される災害・事故）（品質、トラブルも含む）	危険要因 可能性	重大性	評価	危険有害要因低減対策	誰が 点検・確認	対策後 可能性	重大性	評価	参考図（写真等）
準備工		**作業前ミーティング**										
	1	新規入場者のﾁｪｯｸをする	現場、施工方法等について十分な知識を有していない	2	2	4	新規入場者教育の受講	職長	1	2	2	
	2	健康状態を確認する	風邪、飲酒等により正常判断が出来ない	2	1	2	体調の確認、アルコールチェックを行う	職長	1	1	1	
	3	服装、保安用具の点検をする	自発光チョッキの球切れ、しらすんだーが鳴らない	2	1	2	全員で点検を実施する	全員	1	1	1	
	4	機械・工具等の点検をする	機械、工具が現場にて稼働しない	2	1	2	作業前点検を行い、機械、工具の点検をする	全員	1	1	1	
	5	朝礼、KYミーティングを行う	漠然と現場に入り事故を起こす	2	1	2	KYミーティングにて危険箇所を確認する	全員	1	1	1	
	6	作業手順の確認をする	各自の作業が分からず、現場で不安全行動を起こす	3	2	6	個人の作業内容、作業手順を確認する	全員	1	2	2	
	7	規制協議書の確認	協議書通りの規制でない	2	2	4	規制作業内容の確認	全員	1	2	2	
	8	車両点検、荷姿チェックをする	作業車の積荷、スペアタイヤ、敷板の落下	2	2	4	指差呼称と触手による車両点検と物理的落下処置をする	全員	1	2	2	
移動		**現場への移動**										
	1	交通ルールを守り運転する	人身、物損事故	3	3	9	指差呼称を実施して安全確認する	運転手、助手	1	2	2	
	2	高速道路に入る前にプレート区間の確認	プレート区間外使用、不正使用	2	1	2	通用区間、プレート、車番を確認する	運転手、助手	1	1	1	
	3	規制進入時は保安員の指示で進入する	一般車の追突、規制内への誤進入	3	1	3	流入場所の確認、保安員は適切な誘導を行う	保安員	1	1	1	
	4	規制内に車両を駐車する	車両が動いて、他のものに接触する	3	2	6	ハンドル切、サイドブレーキ、輪止めを必ずする	全員	1	2	2	
	5	規制内での移動	車両同士の接触	2	2	4	車両の移動は必ず保安員の指示に従う	運転手	1	2	2	
			車両と作業員の接触	2	2	4	保安員は運転手から見える場所で誘導を行う	保安員	1	2	2	
本作業		**緊急作業**										※交通管理隊の簡易規制内で作業する場合、2時間以上の対応を要する場合は、保全と協議し規制の入替または車線規制の協議を行う。
	1	危険物・散乱物の確認	有害物質を吸い込む、爆発の危険がある	2	2	4	危険物・散乱物の確認は、風上方向から行う	全員	1	2	2	
	2	保護具の着用	保護具未装着によるケガ	2	2	4	適切な保護具の着用確認	全員	1	2	2	
	3	職長は、安全管理に心がける	作業員の不安全行動	1	1	1	職長は作業より、安全管理・仕上げ具合に留意する	職長	1	1	1	
	4	本部との報連相	作業員の不安全行動	2	2	4	管理者の指示を受けてから作業する	全員	1	1	1	
片付け		**現場離脱**										
	1	清掃	ゴミが目に入る	2	1	2	保護眼鏡等を使用する	作業員	1	1	1	
	2	後片付け	作業車の荷の落下	2	2	4	車両移動前、荷姿チェック時に確認しておく	全員	1	2	2	
				2	2	4	ロープがけは必ず車線と反対側から行う	全員	1	2	2	
	3	作業車両離脱	一般車両との接触	2	2	4	事前に誘導方法の打ち合わせをする	運転手 保安員	1	2	2	
				2	2	4	車両の移動は必ず保安員の指示に従う	運転手	1	2	2	
				2	2	4	保安員は運転手から見える位置に立つ	保安員	1	2	2	